



# 東日本大震災と 〈自立・支援〉の生活記録

吉原 直樹・山川 充夫・清水 亮・松本 行真 編  
2020年発行



大災害から九年後の「いま」を刻み、  
記憶の彼方に埋もれさせないために！

東日本大震災から九年……この間の国や県、当該自治体が考える復興と、被災者・避難者の考える復興とのあいだには大きな〈落差〉がある。本書は、被災者にたいする支援と自立のありようをトータルに捉え、「人間の復興」という願いを込めて、その状況を明らかにするモノグラフ〈生活記録〉第3弾！

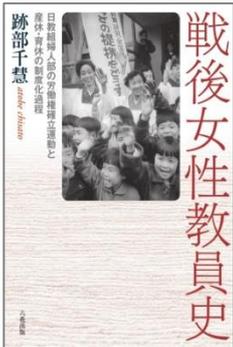
同時1アクセス(本体)	同時3アクセス(本体)
¥8,800	¥9,900

< 冊子版ISBN: 9784866170978 >

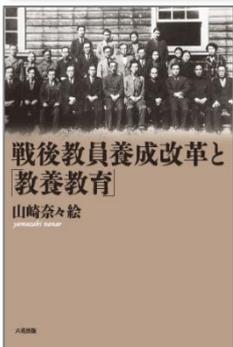
< 商品コード: 1032282648 >



<b>精神病患者と私宅監置</b> <b>—近代日本精神医療史の基礎的研究—</b>		同時1アクセス(本体)	¥4,400		
		同時3アクセス(本体)	¥5,500		
		冊子版ISBN	9784905421085		
著編者名	橋本 明	発行年	2011	商品コード	1018934235
<p>精神医療史研究の立場から、私宅監置の実際を忠実かつ具体的に再現し、実証的な手法で私宅監置制度の本質に迫る。大分県公文書館所蔵「昭和十五年監置精神病患者に関する綴」の文書群一覧も収録。</p>					



<b>戦後女性教員史</b> <b>—日教組婦人部の労働権確立運動と産休・育休の制度化過程—</b>		同時1アクセス(本体)	¥5,280		
		同時3アクセス(本体)	¥6,380		
		冊子版ISBN	9784866170817		
著編者名	跡部 千慧	発行年	2020	商品コード	1031843690
<p>1960年代から70年代を中心とした、日本教職員組合(日教組)婦人部の労働運動に着目し、その運動の過程を丁寧な追ひ、当時の女性解放論や母性保護論争を絶えず参照した組合員の実像を明らかにする。</p>					



<b>戦後教員養成改革と「教養教育」</b>		同時1アクセス(本体)	¥5,720		
		同時3アクセス(本体)	¥6,820		
		冊子版ISBN	9784866170237		
著編者名	山崎 奈々絵	発行年	2017	商品コード	1031843692
<p>戦後の教員養成改革の実態を、教養教育の変遷から丁寧に検証し描き出した労作。一般教養を重視して「師範タイプ」を克服するという、戦後教員養成の理念は、新制の教員養成系大学/学部が発足にあたり実質を伴っていたのだろうか。教育刷新委員会の議事録や各大学の沿革史はもちろん、IFELや大学基準協会などの動向、戦後初期の師範学校、再編後の教員養成系大学のカリキュラムや教員組織といった細部までを検証し、その実相に迫る!</p>					



<b>「女教員」と「母性」</b> <b>—近代日本における</b> <b>&lt;職業と家庭の両立&gt;問題—</b>		同時1アクセス(本体)	¥4,400		
		同時3アクセス(本体)	¥5,500		
		冊子版ISBN	9784905421689		
著編者名	齋藤 慶子	発行年	2014	商品コード	1031389225
<p>「女教員」たちは、男性教員と同等に働いているという誇りと「母性」という女性教員の特質を強調することの矛盾をかかえていた。現在の「育児時短」につながる「部分勤務制」の提案は、ほんとうに「両立」を可能にして女性教員の生活を豊かにしたのか。低賃金の女性教員を確保しようとする帝国教育会の思惑、むしろ地位が低下するのではないかと恐れる現場の女性教員の思いを全国大会や地域の女性教員会の記録などから読み解いた著。</p>					



<b>動員される母親たち</b> <b>—戦時下における家庭教育振興政策—</b>		同時1アクセス(本体)	¥4,400		
		同時3アクセス(本体)	¥5,500		
		冊子版ISBN	9784905421696		
著編者名	奥村 典子	発行年	2014	商品コード	1031843691
<p>戦時下、学校・家庭・地域社会を舞台に「家庭教育」の振興が追求された。母親を中心とした女性を教化・組織した、振興政策の本質は何だったのか。国が構想した家庭教育の内実、そして各地で展開した「母の講座」「母親学級」「母の会」などを検証し、その実態を明らかにする。戦時下の教育と女性運動の問題を問いかける書!</p>					

● 表示価格は税抜きです。

2020年8月